

平成 24 年度
第 1 回応用物理学会北海道支部役員会 議事録

日時：平成 24 年 4 月 25 日（木）16:30～17:30

場所：北海道大学 エンレイソウ 第 1 会議室

出席者（順不同、敬称略）：

橋詰 保（H24 支部長）、西口 規彦（H24 会計監査）、前田 貴章（H24 釧路幹事）、
篁 耕司（H24 旭川幹事）、磯田 広史（H24 室蘭幹事）、小田 久哉（H24 千歳幹事）、
原 真二郎（H24 庶務幹事）、藤原 英樹（H24 庶務幹事）、海住 英生（H24 会計幹事）、
田中 之博（H24 会計幹事）、村上尚史（H24 会計幹事）、高橋 庸夫（H24 支部評議
員）、熊野英和（H23 庶務幹事）、笹倉弘理（H23 会計幹事）、笹木 敬司（H23 本部
理事） 以上 15 名

欠席者（順不同、敬称略）：

高田 明雄（H24 函館幹事）、武山 真弓（H24 北見幹事）、福井 孝志（H24 支部評議
員）、戎 修二（H23 室蘭幹事）、坂井賢一（H23 千歳幹事）、山本眞史（H23 支部評
議員） 以上 6 名

議事録作成者：

藤原 英樹（H24 庶務幹事）

議題

1. 新旧の支部役員の引き継ぎがなされた（資料 1）

- ・ 新役員の自己紹介が行われた。
- ・ 役員交代の報告が行われた（会計幹事：村上先生から田中先生に交代）。

2. 第 48 回（2013 年 1 月）北海道支部学術講演会について（資料 2-1、2-2）

- ・ これまでの開催記録と予定について確認が行われた。
- ・ 開催日程と会場について審議され、提案通り了承された。

会場：釧路市生涯学習センター（仮予約済み）

日程：2013 年 1 月 11 日（金）・12 日（土）

会場幹事：前田先生（釧路幹事）、庶務幹事：原先生

- ・ 庶務幹事・原先生より、講演会までのスケジュールについて説明が行われ、9 月 3 日から予稿の募集、〆切は 11 月 9 日予定とする旨の報告があった。
- ・ 講演会への参加者数増加のため、投稿・参加の勧誘のお願いがあった。
- ・ 例年通り日本光学会北海道地区との合同学術講演会にするかどうかは先方の担当幹事に日程等を確認後、決定する予定（庶務幹事・原先生）。

3. 第 49 回 (2014 年 1 月) 北海道支部学術講演会について (資料 2-1、2-3、2-4)

- ・ 庶務幹事・原先生より開催日程、場所、講演会までのスケジュールについての計画に関する説明が有り、了承された。場所：学術交流会館、開催日 2014 年 1 月 10 日 (金)・11 日 (土) (変更可能) 会場幹事：藤原。
- ・ 例年通り日本光学会北海道地区との共催となるのかの確認 (2013 年 4 月上旬頃) を行う必要があるとの申し送りがあった。

報告事項

4. 平成 24 年度事業計画について (資料 3-1、3-2、3-3、3-4、3-5)

- ・ 支部長・橋詰先生より、今年度の事業計画について説明が行われた。
- ・ 昨年度は、9 回の講演会全てが札幌地区であったため、各地区での開催をお願いする旨の連絡があった。
- ・ リフレッシュ理科教室 (旭川高専会場) は既に開催済み (応物の会計年度は「1 月～12 月」) であり、旭川幹事の篁先生より実施概要について説明が行われた (2012 年 1 月 10 日に開催、参加者数 180 名程度)。来年度も応物の「リフレッシュ理科教室」として継続して旭川高専会場で実施したい旨、計画が報告され了承された。
- ・ リフレッシュ理科教室 (北海道大学工学部会場) を 2012 年 10 月 27 日 10:00～12:00 で開催する計画について報告があった (庶務幹事・原先生)。またこれまで同様、理科実験の実演企画として、NPO 法人北海道科学活動ネットワーク (菅原先生) にご協力をお願いする旨、報告があった。
- ・ リフレッシュ理科教室 (道工大会場) を 12 月中旬に開催予定であるとの報告があった。
- ・ 会計幹事・海住先生より、本年度からリフレッシュ理科教室向けの予算が一律 20%カットとなるとの報告があった。また、庶務幹事・原先生より、今年度はリフレッシュ理科教室の電気学会と電子情報通信学会との共催について説明が有り、各学会より 10 万円の共催分担金として計上される予定であるとの報告があった。
- ・ 尚、今年度 9 月末頃に来年度のリフレッシュ理科教室の申請書を提出する必要があるとの申し送りがあった。
- ・ 北見工大のおもしろ科学実験が開催される予定であり、後援の依頼 (後援分担金 5 万円) があった旨の報告があった。

5. 平成 24 年度予算報告について (資料 4)

- ・ 会計幹事・海住先生より今年度予算について説明が行われた (尚、予算案については前回の総会において既に笹倉先生から説明が有り、了承済みである)。
- ・ 会計幹事・海住先生より、取り崩し金についての説明があり、今年度は 57 万円、残り 2 年間で 94 万円の残金がある旨の報告があった。また取り崩し金は、

H19 秋の応用物理学会全国大会で道工大の会場収入を本部へ送った後、次年度 (H20)に 320 万円が支部会活動費として本部にプール(基金)されており、それを原資としている。次回の北海道で開催される応用物理学会本会の際も同様な処理がされる予定。

- ・ 公益社団法人になっても展示会費の支給が継続されるかとの質問があり、恐らく継続される見通しである事、他支部でも問題にはなっていない等の報告（高橋先生）があった。
- ・ 会計年度についての質疑があった。特に北海道支部学術講演会が 1 月開催となる為、支出の一部が会計年度を跨ぐ等、会計上複雑になっているとの指摘があった。（HP 上の支部規約第 13 条に「本支部の会計年度は 1 月より 12 月までとする。」とあり）今後も継続審議事項となるとの確認が行われた。

6. 学術講演会における参加登録費の改訂について（資料 5）

- ・ 次回支部会学術講演会より、参加登録費が改定（会員 1000 円→2000 円、学生 1000 円、非会員 5000 円）される旨の報告があった。
- ・ 支部長・橋詰先生より、赤字解消策の一環として、学生会員の参加費を 2000 円に引き上げる案が提案され、審議が行われた。再来年の札幌会場開催からの導入を目指して今後継続審議事項とする事となり、次回総会において再提案される予定。

7. 支部長会議報告、理事会報告について（別添資料）

- ・ 支部長会議に関して、別添資料に基づき報告された（支部長・橋詰先生）。
- ・ 学生の講演会申込みの会員登録・制度の厳格化について報告があった。仮入会のまま入会しない学生がいるため、来年の春の応用物理学会より入会手続き完了後に講演会の登録が可能となる。
- ・ 各支部の支部会員数（北海道 405 名）が他支部と比べて少ない。会員数により評議委員の人数や委員長のデューティー割当が決まる慣習があり、会員数増加の呼びかけのお願いがあった。
- ・ 理事会では、昨年度までは支部長はオブザーバー扱いだったが、今年度から支部長と地方出身本部理事を兼務とすることになった。但し、支部長と理事を兼務する場合は、仕事の重複をさけるため委員会等の担当理事は支部長とは別になる。担当理事については今後直接お願いし、決定する予定（笹木先生）。
- ・ 本部の方でも意見を整理する。

8. 人材育成委員会について

- ・ 熊野先生より人材育成委員会の報告があった。
- ・ 4 部門のうち、教育部門がリフレッシュ理科教室を担当（全予算の 3%）してい

るが、全体として予算が2割削減されるため、今後の活動自体が2割削減とならない様に工夫するようお願いがあった。これに関連し、本部でも収入増のための努力を行っており、企業からの寄付金の募集（パンフレットに広告を載せる等）、各会場に募金箱を置く（大学では出来ない）等の案を検討中であると報告があった。また、各支部においても収入増やコスト削減等の工夫を継続してお願いするとの連絡があった。本支部については、本年度は、電気通信学会の共催をお願いしている（高橋先生）。

- ・ 支部会のコスト削減について、現在は案内を市内の全小学校にメール便で郵送しているが、教育委員会を通じて配布（2-3 万円の削減が可能）してはどうかとの提案があった。
- ・ 実施形態について NPO 法人との共催は他支部から評判が良いとの報告があった。

9. その他報告について（別添資料）

- ・ 北見工業大学「おもしろ科学実験」の後援について事後報告（支部長・高橋先生）が行われ、了承された。こうした企画の後援は全く問題ない、むしろ今後も積極的に後援すべきであるということで一致し、了承された。
- ・ 支部長・橋詰先生から、賛助会員（企業、4 万円/口から）募集についての連絡があった。北海道支部は現在 0 社となっているので、声かけをお願いする旨の連絡があった（賛助会員の申請は、本部の HP から支部を指定して申込み可能、1 口目は 8 割、2 口目からは 10 割が支部会の収入となる）。
- ・ 上記に関連し、会社の個人会員はどうなるのか？賛助会員となった企業の個人会員の扱いはどうなるのか？また、企業の賛助会員は何人まで発表できるのか？等の質問があり、後日確認する事となった。
- ・ 旭川幹事・篁先生より再来年の旭川開催の支部会学術講演会が丁度 50 回目となるが、50 回記念の予稿集とは別途に寄稿を募る等のイベントを行うべきかどうかについての質問があり、アイデアについて継続審議とする事が了承された。
- ・ 各地区役員の移動時間の関係上、開催開始時間の変更が提案され、次回役員会より 16 時頃開始とする事が了承された。
- ・ 前回の釧路の決算報告中の釧路市補助金とは何か？今回はないのか？といった質問があり、自治体によるので毎回問い合わせを行う、大学に後援をお願いし会場費を無料にする等の方法もあるとの回答があった。

以上